

6月6日に令和4年第3回富里市議会定例会が開会いたしました。

新型コロナワクチン4回目接種につきましては、60歳以上の方及び18歳から60歳未満の方で、基礎疾患のある方等のうち接種を希望される方を対象に、3回目接種が完了した日を基準とし、6月中旬以降順次、4回目接種クーポン券を送付いたします。

一方で、先般国においては、新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針が変更され、マスクの着用の考え方では、熱中症等のリスクも踏まえ、特に屋外では他者との距離が確保されたり、距離が確保できなくとも、会話を行わない場合には、マスク着用の必要がないなどが示されております。また、海外渡航や入国・帰国時の水際対策の緩和など、感染対策とバランスを取りながら、日常生活を取り戻す時期へとようになってきています。

本市でも、8月には、市制20周年を市民の皆さまと一緒に祝いするため、「市制20周年記念セレモニー」と併せ「夏まつり」の開催へ向けた準備を進めております。

会場においては、入場者の感染対策の徹底などを踏まえ、出入口が限定されている富里中央公園野球場などを会場の候補地とするなど、千葉県及び関係機関等と連携して、慎重に取り組んでまいります。

また、現在本市では、西瓜の最盛期を迎えております。そこで、明日、6月7日に、富里市農業協同組合の組合長と首相官邸に出向き、岸田総理に、「富里すいか」を直接お渡しさせていただきます。

市制20周年という節目の年であり、全国有数のすいかの産地という事で、今回の訪問が叶い、時間の許す限り富里農業のPRはもとより、本市の状況をお伝えできればと思っております。

(1) 「末廣農場」オープニングセレモニーについて

当日は、千葉県をはじめ、近隣の市長や町長などをお招きし、オープニングセレモニーを開催させて頂きましたことは、議員の皆様をはじめ、関係するすべての皆様のお力添えのおかげと、心から感謝申し上げます。

いよいよ、大きな一步を踏み出し、長い道のりが始まってまいります。

末廣農場には、市民の皆様はもとより、多くの方に御来場いただき、賑わいを創出するとともに、来訪者を末廣農場でとどめることなく、市内にその効果を波及するためにも、市民の皆様と知恵を絞り取り組んでいくことが大事であると思っております。さらには、千葉県をはじめ、多くの市町と観光分野での新たな連携を図り、ともに共存、ともに成長が出来るよう、着実に進めてまいります。

(2) 旧岩崎久彌末廣農場別邸公園について

本年4月29日から開園日を拡大し、開園を拡大してから6月4日までの間、約2,000人、1日平均約70人の方々に来園していただいております。

特に、末廣農場がプレオープンした5月27日から6月4日までは、約1,000人、1日平均約120人という事で、末廣農場と一体的な取組に期待が持たれます。

今年度は、庭園整備として、バリアフリー化を目指し、一部園路の整備を図るほか、岩崎家末廣別邸の修復事業として、主屋の基礎部分について改修を予定しているとともに、敷地内の園路沿いには、来訪者へのおもてなしの一つとして、引き続き花畑の充実に取り組んでまいります。

今後も計画的に保全・整備を進めるとともに、末廣農場と連携し、岩崎家ゆかりの歴史的背景等をガイダンスしつつ、観光を促進してまいります。

(3) 「新デマンド交通運行計画」に基づく新たなデマンド交通の運行について、

これまで、民間路線バスやタクシーなどの公共交通を補完する役割として、市内の主要施設を連絡する「さとバスとデマンド交通」を運行してきましたが、市民の移動ニーズの多様化や高齢化社会への対応として、全ての市民が利用しやすい地域交通を目指し、令和4年5月に富里市地域公共交通会議での運行計画の決定により、本年10月から「新たなデマンド交通」へと転換し、運行を開始いたします。

主な拡充点につきましては、京成成田駅をはじめ、公共・公益施設、病院、商業施設を中心に乗降ポイントを増設するとともに、平日のみの運行から365日運行、運行時間を9時間から12時間に拡大いたします。また、高齢化が進む中、70歳以上の方を対象に、ドア・ツー・ドア方式について、実証運行による検証を行い、高齢者に優しい地域交通を目指してまいります。

なお、多くの市民の皆様の御利用を図る上で、様々な媒体による説明や、さとバスの御利用者に対しては、直接の説明を行うなど、周知の徹底を行ってまいります。

(4) 「富里すいかフェア」について

市制20周年を迎えた令和4年度において、「富里すいか」の知名度向上と更なるブランド化を図るため、関連する各種イベントを「富里すいかフェア」と位置づけ、富里市農業協同組合と連携しながら、一体性のあるイベントとして開催し、農業から「元気なまち とみさと」の実現を目指してまいります。

「すいかフェア」に位置づけた主な事業のうち、「富里すいかWeek」につきましては、

本市の特産物である「すいか」の生産振興を目的に、これまで「すいかまつり」において、共進会や出店等のイベントを開催してまいりましたが、今年度につきましては、「富里すいかWeek」として実施いたします。

「富里すいかWeek」は、すいかの最盛期である6月13日から6月19日までとし、期間中は「末廣農場」などでイベントコーナーを設置し、「富里すいか」を盛り上げてまいります。

また、6月17日には、子どもたちが「すいかのまち富里」に、誇りを持てるよう、市内小・中学校の児童・生徒の給食のメニューで「富里すいか」を提供する「ワクワク！富里すいか学校給食Day！」を今年度も実施いたします。

（5）スマイル富里魅力発信事業（日芸連携事業）について

本市が持つポテンシャルを最大限活かしながら市の魅力を発信し、知名度向上及び関係人口創出へ繋げる取組として、本日、6月6日から7月3日までの期間、東京駅八重洲口南北通路に設置されている34面のデジタルサイネージにて、包括連携協定を結んでいる日本大学芸術学部の協力により、「富里すいか」の知名度向上と「末廣農場」オープンに合わせた動画広告を掲載いたします。

また、「富里すいか」の新たな魅力をテーマに、日本大学芸術学部と市制20周年コラボ企画として制作した、すいかのポスター20枚を、現在、末廣農場で掲示し、PRを行っております。

今後も、本市の魅力ある豊富な農産物を、様々な角度から発信し、効果の創出を目指すためにも、継続的に取り組んでまいります。

(6) 若者プロジェクトチームによる目指せ！サステイナブルコミュニティ2について

若者たち自らが、地域課題の解決策や若者の発想から展開される新たな施策を企画立案し、事業化を目指す若者プロジェクトにつきましては、令和4年度も「若者プロジェクトチームによる目指せ！サステイナブルコミュニティ2」として、新たに参加者を募集し、中学生・高校生を中心とする13名から応募がございました。

また、令和3年度に若者プロジェクトに参加した若者たちの中から、2つの市民活動団体が誕生したことに伴い、新たに「若者プロジェクト支援補助金」を創設しております。

今後も、若者たちが地域課題の解決と持続可能でより良い社会の実現を目指すため、自らまちづくりに参画するきっかけとなる活動を支援いたします。